

統制會又ハ統制組合ハ其ノ名稱中ニ統制會又ハ統制組合ナル文字ヲ用フベシ但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

## 第二章 統制會

第四條 統制會ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲當該産業ノ綜合的統制運管ヲ圖リ且當該産業ニ關スル國策ノ立案及遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第五條 統制會ハ産業ノ種類別ニ之ヲ設立ス

第六條 統制會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ニ掲グル事業ヲ行フ

一、當該産業ニ於ケル生産及配給並ニ當該産業ニ要スル資材、資金、勞務等ノ需給ニ關スル政府ノ計畫其ノ他當該産業ニ關スル政府ノ計畫ニ對スル參畫

二、當該産業ニ於ケル生産及配給ニ關スル統制指導其ノ他會員タル團體ヲ組織スル者ノ當該産業ニ屬スル事業ニ關スル統制指導

三、當該産業ノ整備確立

四、技術ノ向上、能率ノ増進、規格ノ統一、經理ノ改善其ノ他會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ當該産業ニ屬スル事業ノ發達ニ關スル施設

五、當該産業ニ關スル調査及研究

六、會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ當該産業ニ屬スル事業ニ關スル検査

七、前各號ニ掲グルモノノ外統制會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

第七條 統制會ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ主務大臣ノ指定スルモノトス

一、當該産業ヲ營ム者

二、當該産業ヲ營ム者ヲ以テ組織スル團體

三、第一號ニ掲グル者及前號ニ掲グル團體ヲ又ハ前號ニ掲グル團體ヲ以テ組織スル團體

第八條 主務大臣統制會ヲ設立セシメンストキハ閣令ノ定ムル所ニ依リ前條規定ニ依リ會員タル資格ヲ有スル者ニ對シ統制會ノ設立ヲ命ズベシ

前項ノ規定ニ依ル統制會設立ノ命令アリタルトキハ閣令ノ定ムル所ニ依リ創立總會ヲ開



キ之ニ諮リテ定款其ノ他統制會ノ設立ニ必要ナル事項ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第九條 統制會ノ定款ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

- 一、目的
- 二、名稱
- 三、事務所ノ所在地
- 四、會員ニ關スル規定
- 五、事業及其ノ執行ニ關スル規定
- 六、役員ニ關スル規定
- 七、會議ニ關スル規定
- 八、會計ニ關スル規定

第十條 統制會ハ第八條第二項ノ認可アリタルトキ又ハ國家總動員法第十八條第三項ノ規定ニ依リ定款ノ作成アリタルトキ成立ス  
前項ノ場合ニ於テハ主務大臣ハ統制會成立ノ旨及定款ヲ告示スベシ

第十一條 統制會成立シタルトキハ其ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ總テ其ノ統制會ノ會員トス

第十二條 統制會ニハ左ノ役員ヲ置クベシ

- |     |     |
|-----|-----|
| 會長  | 一人  |
| 理事  | 若干人 |
| 監事  | 若干人 |
| 評議會 | 若干人 |

統制會ニハ前項ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ副會長二人以内又ハ理事長一人ヲ置クコトヲ得

第十三條 會長ハ統制會ヲ代表シ當該産業ノ統制指導其ノ他ノ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ輔佐シ豫メ會長ノ定ムル順位ニ依リ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ會長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事長ハ會長及副會長ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ會長及副會長共ニ事故アルトキハ會長ノ職



務ヲ代理シ會長及副會長共ニ缺員ノトキハ會長ノ職務ヲ行フ

理事ハ會長、副會長及理事長ヲ輔佐シ會務ヲ分掌シ豫メ會長ノ定ムル順位ニ依リ會長、副會長及理事長共ニ事故アルトキハ會長ノ職務ヲ代理シ會長、副會長及理事長共ニ缺員ノトキハ會長ノ職務ヲ行フ

監事ハ統制會ノ財産ノ狀況ヲ監査ス

評議員ハ會長ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ會長ニ對シ意見ヲ具申ス

第十四條 會長ハ銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ主務大臣之ヲ命ズ

前項ノ銓衡委員ハ當該産業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ主務大臣之ヲ命ズ

副會長、理事長、理事及評議員ハ當該産業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ會長之ヲ命ズ

監事ハ閣令ノ定ムル所ニ依リ評議員之ヲ選任ス

第三項ノ規定ニ依ル副會長、理事長及理事ノ任命ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

主務大臣第一項ノ規定ニ依ル任命又ハ前項ノ認可ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第十五條 統制會ノ役員ノ任期ハ左ノ通トス

會長	三年
副會長	三年
理事長	三年
理事	三年
監事	二年
評議員	二年

會長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ副會長、理事長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得前項ノ解任ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ主務大臣前項ノ認可ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第十六條 會長、副會長理事長及理事ハ他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得ズ、但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ



第十七條 統制會ハ當該産業ニ關スル事項ニ付關係各大臣ニ建議スルコトヲ得

統制會ハ關係各大臣ノ諮問ニ對シ答申スベシ

第十八條 統制會ハ其ノ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ニ對シ當該産業ニ關スル事項ノ

調査ヲ爲ス爲必要ナル資料ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ資料ノ提出ヲ求メラレタル者ハ遲滞ナク之ヲ提出スベシ

第十九條 統制會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ賦課スルコトヲ得

第二十條 統制會ハ其ノ事業ヲ行フ爲特ニ必要アルトキハ閣令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣

ノ認可ヲ受ケ其ノ會員ノ全部又ハ一部ニ對シ前條ノ規定ニ依ル賦課金ノ外特別ノ賦課金

ヲ課スルコトヲ得

第二十一條 統制會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款又ハ統制規程ニ違反シタル會員ニ對シ過

怠金ヲ課スルコトヲ得

第二十二條 第十九條若ハ第二十條ノ規定ニ依ル賦課金又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル場合

ニ於テ統制會ノ請求アルトキハ市町村税ノ例ニ依リ之ヲ處分ス、此ノ場合ニ於テ統制會

ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スベシ

前項中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキモノトス

第一項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ徵收金

ニ次ギ其ノ時効ニ付テハ市町村税ノ例ニ依ル

第二十三條 統制會ハ其會員又ハ會員タル團體ヲ組織スル者ノ當該産業ニ屬スル事業ニ關

スル統制規程ヲ設定スベシ

第二十四條 定款ノ變更竝ニ統制規程ノ設定及變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ

其ノ效力ヲ生ゼズ

主務大臣前項ノ認可ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第二十五條 統制會ノ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ハ當該統制會ノ統制規程ニ依ルベ

シ

第二十六條 統制會必要アリト認ムルトキハ統制會ノ役員又ハ使用人ヲシテ會員及會員タ

ル團體ヲ組織スル者ノ業務若ハ財産ノ狀況又ハ帳簿書類、設備其ノ他ノ物件ヲ検査セシ



ムルコトヲ得

統制會ノ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ハ前項ノ規定ニ依ル検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避スルコトヲ得ズ

統制會第一項ノ規定ニ依リ役員又ハ使用人ヲシテ検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第二十七條 會長當該統制會ノ會員タル法人又ハ會員タル團體ヲ組織スル法人ノ理事取締役其ノ他法人ノ業務ヲ執行スル役員ノ行爲ガ左ノ各號ノ一ニ該當シ當該產業ノ統制運管上特ニ支障アリト認ムルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ當該法人ニ對シ其ノ役員ノ解任ヲ命ズルコトヲ得、但シ當該統制會ノ會員タル統制組合ノ理事長ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一、法令又ハ法令ニ基キテ爲ス行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

二、公益ヲ害シタルトキ

三、統制規程ニ違反シタルトキ

第二十八條 通常總會ハ毎年一回會長之ヲ招集ス

會長必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總會ヲ招集スルコトヲ得

第二十九條 左ニ掲グル事項ハ總會ニ諮リ會長之ヲ決ス

一、定款ノ變更

二、收支豫算

三、第十九條又ハ第二十條ノ規定ニ依ル賦課徵收方法

第三十條 會長ハ毎年總會ニ統制會ノ事業ノ狀況ヲ報告シ監事ヲシテ財産ノ狀況ヲ報告セシムベシ

第三十一條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ統制會又ハ其ノ會員若ハ會員タル團體ヲ組織スル者ヨリ其ノ事業ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ事務所、營業所、工場、事業場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類設備其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ



第三十二條 關係各大臣ハ統制會ニ對シ當該産業ニ關スル事項ノ調査ヲ命ズルコトヲ得

12

第三十三條 主務大臣當該産業ノ統制運営上必要アリト認ムルトキハ統制會ニ對シ必要ナル事業ノ施行ヲ命ジ又ハ定款ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第三十四條 主務大臣ハ統制會ニ對シ業務及會計ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

主務大臣必要アリト認ムルトキハ監事ヲシテ監査ノ結果ヲ報告セシムルコトヲ得

第三十五條 主務大臣ハ會長ノ行爲ガ法令又ハ法令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ、公益ヲ害シタルトキ其ノ他當該産業ノ統制運営上會長ヲ不適當ナリト認ムルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

主務大臣ハ副會長、理事長、理事、監事又ハ評議員ノ行爲ガ法令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ又ハ公益ヲ害シタルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

主務大臣前二項ノ規定ニ依リ會長、副會長、理事長又ハ理事ヲ解任シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第三十六條 統制會ハ主務大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

主務大臣前項ノ命令ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スベシ

### 第三章 統制組合

第三十七條 統制組合ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲當該産業ノ統制運営ヲ圖リ且當該産業ニ關スル國策ノ遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第三十八條 統制組合ハ一定地區ニ於テ産業ノ種類別ニ之ヲ設立ス

前項ノ地區ハ特別ノ場合ヲ除クノ外道府縣又ハ二以上道府縣ノ區域ニ依ル

第三十九條 統制組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ニ掲グル事業ヲ行フ

一、當該地區内ノ當該産業ニ於ル生産及配給ニ關スル統制指導其ノ他組合員ノ當該産業ニ屬スル事業ニ關スル統制指導

二、當該地區内ニ於ケル當該産業ノ整備確立

三、技術ノ向上、能率ノ増進、經理ノ改善其ノ他組合員ノ當該産業ニ屬スル事業ノ發

13



達ニ關スル施設

- 四、當該地區内ニ於ケル當該産業ニ關スル調査及研究
- 五、組合員ノ當該産業ニ屬スル事業ニ關スル検査
- 六、前各號ニ掲グルモノノ外統制組合ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

第四十條 統制組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ主務大臣ノ指定スルモノトス

- 一、當該地區内ニ於テ當該産業ヲ營ム者
- 二、當該地區内ニ於テ當該産業ヲ營ム者ヲ以テ組織スル團體
- 三、第一號ニ掲グル者及前號ニ掲グル團體ヲ以テ組織スル團體又ハ前號ニ掲グル團體ヲ以テ組織スル團體

第四十一條 主務大臣統制組合ヲ設立セシメントスルトキハ閣令ノ定ムル所ニ依リ地區ヲ定メ前條ノ規定ニ依リ組合員タル資格ヲ有スル者ニ對シ統制組合ノ設立ヲ命ズベシ

第四十二條 統制組合ノ定款ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一、目的

二、名稱

三、地區

四、事務所ノ所在地

五、組合員ニ關スル規定

六、事業及其ノ執行ニ關スル規定

七、役員ニ關スル規定

八、會議ニ關スル規定

九、會計ニ關スル規定

第四十三條 統制組合ニハ左ノ役員ヲ置クベシ

理事長 一人

理事 若干人

監事 若干人



評議員 若干人

統制組合ニハ前項ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ副理事長二人以内ヲ置クコトヲ得  
第四十四條 理事長ハ統制組合ヲ代表シ當該産業ノ統制指導其ノ他ノ組合事務ヲ總理ス  
理事長ハ當該産業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ當該統制組合ノ所屬スル統制  
會ノ會長之ヲ命ズ、當該統制組合ノ所屬スル統制會ナキトキハ當該産業ニ關シ經驗アル  
者及學識アル者ノ中ヨリ主務大臣之ヲ命ズ

前項前段ノ規定ニ依ル理事長ノ任命ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生  
ゼズ

第四十五條 第十三條第二項第四項乃至第六項及第十四條第三項乃至第五項ノ規定ハ統制  
組合ノ副理事長、理事、監事及評議員ニ之ヲ準用ス

第四十六條 統制組合ノ役員ノ任期ハ左ノ通トス

理事長 三年  
副理事長 三年

理事 三年  
監事 二年  
評議員 二年

理事長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ副理事長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得  
前項ノ解任ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバソノ效力ヲ生ゼズ

第四十七條 統制會ノ會長ハ當該統制會ノ會員タル統制組合ノ理事長ノ行爲ガ法令又ハ法  
令ニ基キテ爲ス行政官聽ノ處分ニ違反シタルトキ、公益ヲ害シタルトキ、其ノ他當該産  
業ノ統制運営上理事長ヲ不適當ナリト認ムルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得  
前項ノ解任ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第四十八條 統制組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ總會ニ代ルベキ總代会ヲ設クルコトヲ得  
第二十八條乃至第三十條ノ規定ハ前項ノ總代会ニ之ヲ準用ス

第四十九條 統制組合ハ閣令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス  
前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコト



ヲ得ズ

第五十條 第八第二項、第十條、第十一條、第十七條乃至第二十六條、第二十八條乃至第三十四條、第三十五條第一項第二項及第三十六條第一項ノ規定ハ統制組合ニ之ヲ準用ス但シ主務大臣又ハ關係各大臣トアルハ第八條第二項、第十條第二項及第三十六條第一項ニ規定スル場合ヲ除クノ外行政官廳トス

#### 第四章 雜 則

第五十一條 第十七條第二項、第三十一條第一項及第三十二條（各前條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）竝ニ第三十三條（前條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム以下本條及第五十二條ニ於テ同ジ）中關係各大臣、行政官廳又ハ主務大臣トアルハ當該諮問、報告、臨檢検査又ハ命令ガ軍事上ノ必要ニ基ク場合ニ於テハ陸軍大臣又ハ海軍大臣トス  
陸軍大臣又ハ海軍大臣第三十三條ノ規定ニ依リ命令ヲ爲サントスルトキハ當該審制會又ハ當該統制組合ノ所管大臣ニ協議スベシ

第五十二條 當該統制會又ハ當該統制組合ノ所管大臣第三十三條ノ規定ニ依リ命令ヲ爲サントスル場合ニ於テ當該命令ガ軍事上ニ影響ヲ及ボスベキモノナルトキハ陸軍大臣又ハ海軍大臣ニ協議スベシ

第五十三條 第五十一條第一項ノ場合ヲ除クノ外本令中主務大臣、關係各大臣又ハ當該統制會又ハ當該統制組合ノ所管大臣トアルハ朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋群島（以下外地ト稱ス）ニ在リテハ各朝鮮總督、臺灣總督樺太廳長官又ハ南洋廳長官トス

第七條各號ノ一ニ該當スル者ニシテ内地ニ在ルモノト同條各號ノ一ニ該當スルモノニシテ外地ニ在ルモノトヲ以テ組織スル統制會ニ關スル場合ニ在リテハ本令中主務大臣、關係各大臣又ハ當該統制會又ハ當該統制組合ノ所管大臣トアルハ外地ノミニ關スル事項ニ關スル場合ニ限り前項ノ規定ニ拘ラズ各朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官トス

第二十二條中市町村トアルハ朝鮮ニ在リテハ府邑面、臺灣ニ在リテハ市街庄、南洋群島ニ在リテハ南洋群島地方費トシ市町村稅トアルハ朝鮮ニ在リテハ國稅、臺灣ニ在リテハ



市街庄税、南洋群島ニ在リテハ地方費税トシ百分ノ四トアルハ朝鮮ニ在リテハ百分ノ五トス

第三十八條中道府縣トアルハ朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州又ハ廳、樺太及南洋群島ニ在リテハ支廳管轄區域トス

第二項ノ統制會ニ關スル場合ヲ除クノ外本令中閣令トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニ在リテハ總督府令、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ廳令トス

第五十四條 主務大臣前條第二項ノ統制會ニ關シ左ニ掲グル處分ヲ爲サントスルトキハ朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官ニ協議スベシ

一、第七條ノ規定ニ依ル指定又ハ第十四條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依ル任命但シ第七條ノ規定ハ同條各號ノ一ニ該當スル者ニシテ外地ニ在ルモノヲ指定スル場合ニ限ル

二、第八條第一項、第三十三條又ハ第三十六條第一項ノ規定ニ依ル命令但シ第三十三條ノ規定ニ依ル命令ハ會員又ハ會員タル團體ヲ組織スル者ガ外地ニ於テ行フ事業ニ

關スルモノナル場合ニ限ル

三、第八條第二項、第十四條第五項、第十五條第三項、第十六條、第二十條、第二十四條第一項又ハ第二十七條ノ規定ニ依ル認可但シ第二十條ノ規定ニ依ル認可ハ當該統制會ノ會員ニシテ外地ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スルモノニ對シ賦課金ヲ課スル場合、第二十七條ノ規定ニ依ル認可ハ當該統制會ノ會員タル法人又ハ會員タル團體ヲ組織スル法人ニシテ外地ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スルモノノ役員ノ解任ヲ命ズル場合ニ限ル

四、第三十五條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル解任

第五十五條 朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官左ニ掲グル處分ヲ爲サントスルトキハ主務大臣ニ協議スベシ

一、第五十三條第二項ノ統制會ニ對スル第三十三條ノ規定ニ依ル命令

二、第五十三條第二項ノ統制會アル場合ニ於テ第四十一條ノ規定ニ依リテ爲ス當該產業ニ關スル統制組合ノ設立ノ命令



三、第五十三條第二項ノ統制會ノ會員タル統制組合ニ對スル第五十條ニ於テ準用スル  
第三十六條第一項ノ規定ニ依ル命令

第五十六條 本令ニ規定スルモノヲ除クノ外統制會及統制組合ニ關シ必要ナル事項ハ命令  
ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

本令ハ昭和十六年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

重要産業團體令施行規則

第一章 統 制 會

第一條 主務大臣重要産業團體令（以下令ト稱ス）第八條第一項ノ規定ニ依リ統制會ノ設  
立ヲ命ズル場合ニ於テハ左ニ掲グル事項ヲ指定シ之ヲ告示ス

一、産業ノ種類

二、設立ノ認可ヲ申請スベキ期限

前項ノ場合ニ於テ主務大臣ハ會員タル資格ヲ有スル者ノ中ヨリ設立委員ヲ命ジ其ノ氏名  
又ハ名稱及住所ヲ告示ス

前項ノ告示アリタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク創立總會ヲ招集スベシ

第二條 創立總會ヲ招集スルニハ會員タル資格ヲ有スル者ニ對シ少クトモ二週間前ニ會議  
ノ目的タル事項、日時及場所ヲ示シ招集ノ通知ヲ發スベシ



第三條 左ニ掲グル事項ハ創立總會ニ諮リ設立委員之ヲ定ム

一、定 款

二、統制會ノ負擔ニ歸スベキ創立費及其ノ償却方法

三、初年度ノ收支豫算及初年度ニ於ケル令第十九條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方

法

第四條 創立總會終結シタルトキハ設立委員ハ遲滞ナク統制會ノ設立認可ヲ申請スベシ

設立認可申請書ニハ定款、創立總會ノ議事録ノ謄本竝ニ前條第二號及第三號ニ掲グル事項ヲ記載シタル書面ヲ添付スベシ

第五條 監事ノ選任ハ評議員ノ過半数ヲ以テ之ヲ爲ス

第六條 評議員ノ任命又ハ監事ノ選任アリタルトキハ統制會ハ遲滞ナク其ノ氏名及住所ヲ

主務大臣ニ届出ヅベシ

會長、副會長、理事長、理事、監事又ハ評議員辭任又ハ死亡シタルトキハ統制會ハ遲滞

ナク其ノ旨ヲ主務大臣ニ届出ヅベシ其ノ者ノ任期滿了シタルトキ亦同ジ

會長、副會長、理事長又ハ理事ニ付前項ノ届出アリタルトキハ主務大臣ハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第七條 統制會令第二十條ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載

シタル申請書ヲ主務大臣ニ提出スベシ

一、特別ノ賦課金ヲ必要トスル事由

二、特別ノ賦課金ノ收支豫算及賦課徵收方法

前項ノ申請書ニハ前項第二號ノ收支豫算ノ明細書及總會ノ議事録ノ謄本ヲ添付スベシ

第八條 總會ヲ招集スルニハ會員ニ對シ少クモ二週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ示シ招集ノ通知ヲ發スベシ

第九條 每事業年度ノ收支豫算及令第十九條ノ規定ニ依ル金ノ賦課徵收方法決定シタルト

キハ統制會ハ遲滞ナク之ヲ主務大臣ニ届出ヅベシ其ノ變更アリタルトキ亦同ジ

第十條 統制會ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス

第十一條 主務大臣統制會ノ解散ヲ命ジタル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ當該統制會ノ主たる事



務所ノ所在地ノ區裁判所ニ通知スベシ

前項ノ通知アリタルトキハ裁判所ハ職權ヲ以テ清算人ヲ選任ス

裁判所必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ清算人ヲ解任スルコトヲ得

裁判所清算人ヲ選任又ハ解任シタルトキハ其ノ旨ヲ主務大臣ニ通知スベシ

前項ノ通知アリタルトキハ主務大臣ハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第十二條 清算人ハ統制會ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第十三條 清算人ハ清算及財産處分ノ方法ヲ定メ裁判所ノ認可ヲ受クベシ

裁判所必要アリト認ムルトキハ清算人ニ對シ清算及財産處分ノ方法ノ變更其ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十四條 統制會ハ解散ノ後ト雖モ裁判所ノ認可ヲ受ケ其ノ債務ヲ完済スルニ必要ナル金額ヲ賦課徵收スルコトヲ得

令第二十二條及第五十三條第三項ノ規定ハ前項ノ賦課徵收ニ關シ之ヲ準用ス

第十五條 主務大臣ハ裁判所ニ對シ清算ニ關シ意見ヲ述ブルコトヲ得

第十六條 統制會ノ清算結了シタルトキハ裁判所ハ其ノ旨ヲ主務大臣ニ通知スベシ

前項ノ通知アリタルトキハ主務大臣ハ其ノ旨ヲ告示スベシ

## 第二章 統制組合

第十七條 主務大臣令第四十一條ノ規定ニ依リ統制組合ノ設立ヲ命ズル場合ニ於テハ左ニ掲グル事項ヲ指定シ之ヲ告示ス

一、産業ノ種類

二、地 區

三、設立ノ認可ヲ申請スベキ期限

第十八條 第一條第二項第三項、第二條乃至第五條、第六條第一項第二項、第七條乃至第十條、第十一條第一項乃至第四項、第十二條乃至第十五條及第十六條第一項ノ規定ハ統制組合ニ之ヲ準用ス但シ主務大臣トアルハ第一條第二項及第十一條第一項ニ規定スル場合ヲ除クノ外行政官廳トシ總會トアルハ總會又ハ總代會トシ第八條中會員トアルハ組合



員又ハ總代會ヲ構成スル者トス

第十九條 統制組合成立シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ左ニ掲グル事項ヲ登記スル

コトヲ要ス

一、目的

二、名稱

三、地區

四、事務所

五、成立ノ年月日

六、理事長、副理事長及理事ノ氏名及住所

前項ニ掲グル事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ變更ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第二十條 統制組合成立ノ後新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ其ノ事務所ノ所在地ニ於テハ前條第一項ニ掲グル事項ヲ登記スルコトヲ要ス但シ既ニ存スル事務所ノ所在地ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ其ノ事務所ヲ設ケタルコトヲ登記スルヲ

以テ足ル

第二十一條 統制組合ガ事務所ヲ移轉シタルトキハ舊所在地ニ於テハ移轉ノ登記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ第十九條第一項ニ掲グル事項ヲ登記スルコトヲ要ス但シ同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ事務所ヲ移轉シタルトキハ其ノ移轉ノ登記ヲ爲スヲ以テ足ル

第二十二條 統制組合ノ解散ノ命令アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ解散ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第二十三條 統制組合ノ清算人ノ選任アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ清算人ノ氏名及住所ヲ登記スルコトヲ要ス

第十九條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十四條 統制組合ノ清算終了シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ清算終了ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第二十五條 統制組合ノ登記ニ付テハ其ノ事務所ノ所在地ノ區裁判所ヲ以テ管轄登記所トス



各登記所ニ統制團體登記簿ヲ備フ

第二十六條 第十九條乃至第二十二條ノ規定ニ依ル登記ハ當該行政官廳ノ囑託ニ因リテ之ヲ爲ス

第二十三條及第二十四條ノ規定ニ依ル登記ハ裁判所ノ囑託ニ因リテ之ヲ爲ス

第二十七條 登記シタル事項ハ裁判所遲滯ナク之ヲ公告スルコトヲ要ス

第二十八條 非訟事件手續法第二百五條第一項（第五百五十條、第五百五十條ノ三及第七十七條ノ規定ヲ準用スル部分ヲ除ク）ノ規定ハ統制組合ノ登記ニ之ヲ準用ス

### 第三章 雜 則

第二十九條 令第二十六條第三項（令第五十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ證票ハ別記

第一號様式ニ、令第三十一條第二項（令第五十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ證票ハ

別記第二號様式ニ依ル

第三十條 令第五十條（令第三十一條第一項ノ規定ヲ準用スル場合ヲ除ク）及本令第十八

條中行政官廳トアルハ鑛業若ハ砂鑛業ノ統制組合ニシテ地區ガ鑛山監督局ノ管轄區域ヲ超ユルモノニ關スル場合又ハ其ノ他ノ統制組合ニシテ地區ガ道府縣ノ區域ヲ超ユルモノニ關スル場合ニ在リテハ主務大臣トシ鑛業若ハ砂鑛業ノ統制組合ニシテ地區ガ鑛山監督局ノ管轄區域ヲ超エザルモノニ關スル場合又ハ其ノ他ノ統制組合ニシテ地區ガ道府縣ノ區域ヲ超エザルモノニ關スル場合ニ在リテハ各鑛山監督局長又ハ地方長官トス

第三十一條 民法第七十九條、第八十條及第八十二條第二項竝ニ非訟事件手續法第三十五條第二項、第三十六條及第三十七條ノ二ノ規定ハ統制會及統制組合ノ清算ニ之ヲ準用ス

### 附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### 別 記

第一號様式（用紙ノ大サハ日本標準規格A6トシ中央點線ノ所ヨリニツ折ト爲ス）

（表 面）



重要産業團體令第二十六條ノ規定ニ依ル證票



(裏面)

第 號 昭和 年 月 日交付

氏

當該統制會  
又ハ統制組  
合印

名

國家總動員法第十八條第一項 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ同種若ハ異種ノ事業ノ事業主又ハ其團體ニ對シ當該事業ノ統制又ハ統制ノ爲ニスル經營ヲ目的トスル團體又ハ會社ノ設立ヲ命ズル事ヲ得同條第六項 第一項ノ團體又ハ會社ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

國家總動員法第三十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

二 第十八條第六項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

重要産業團體令第二十六條 統制會必要アリト認ムルトキハ統制會ノ役員又ハ使用人ヲシテ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ業務若ハ財産ノ狀況又ハ帳簿書類、設備其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

統制會ノ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ハ前項ノ規定ニ依ル検査ヲ拒ミ、妨グ又ハ忌避スルコトヲ得ズ

統制會第一項ノ規定ニ依リ役員又ハ使用人ヲシテ検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

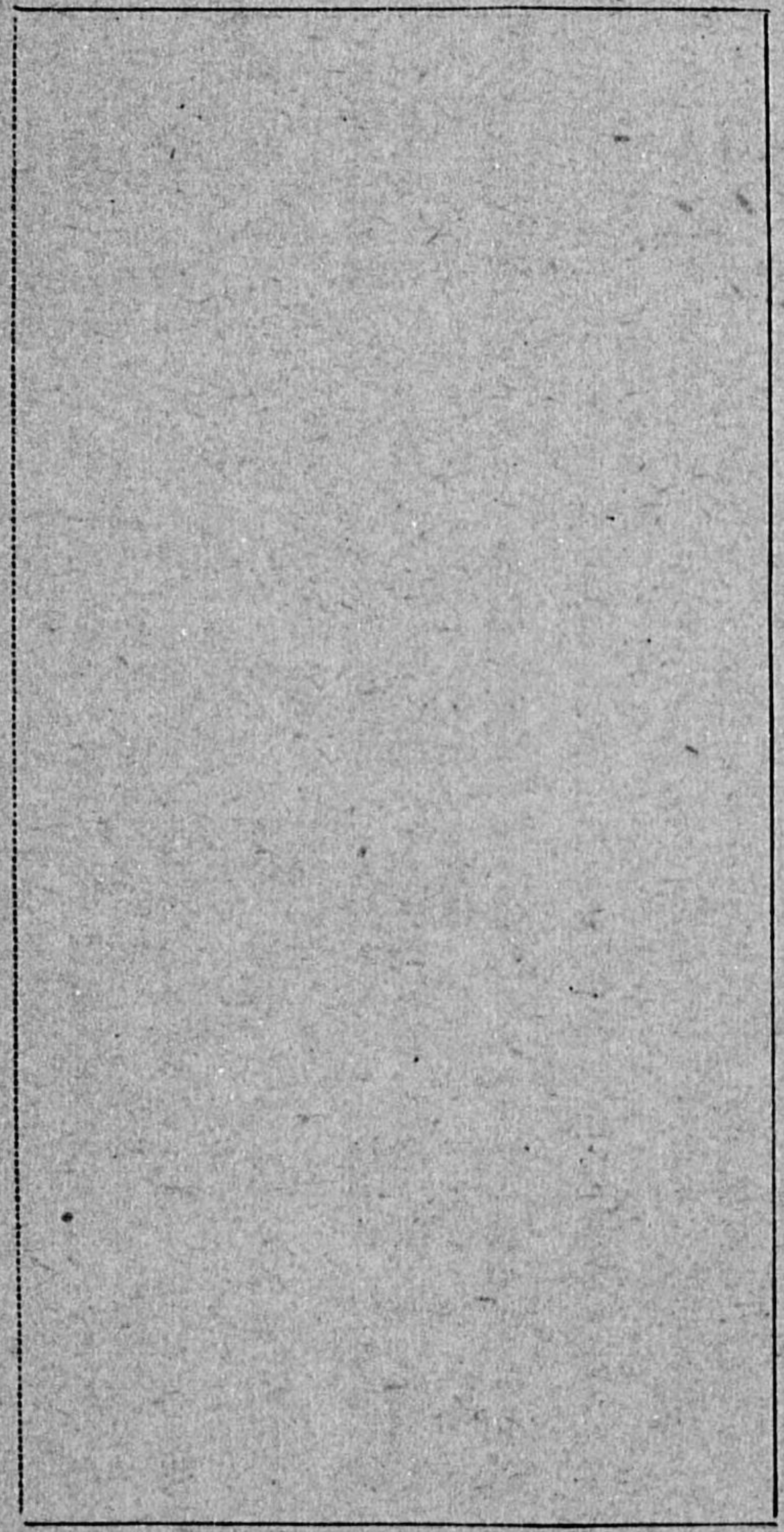
重要産業團體令第五十條 第八條第二項、第十條、第十一條、第十七條乃至第二十六條、第二十八條乃至第三十四條、第三十五條第一項第二項及第三十六條第一項ノ規定ハ統制組合ニ之ヲ準用ス但シ主務大臣又ハ關係各大臣トアルハ第八條第二項、第十條第二項及第卅六條第一項ニ規定スル場合ヲ除クノ外行政官廳トス

重要産業團體令施行規則第二十九條 令第二十六條第三項(令第五十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ證票ハ別記第一號様式ニ、令第三十一條第二項(令第五十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ證票ハ別記第二號様式ニ依ル

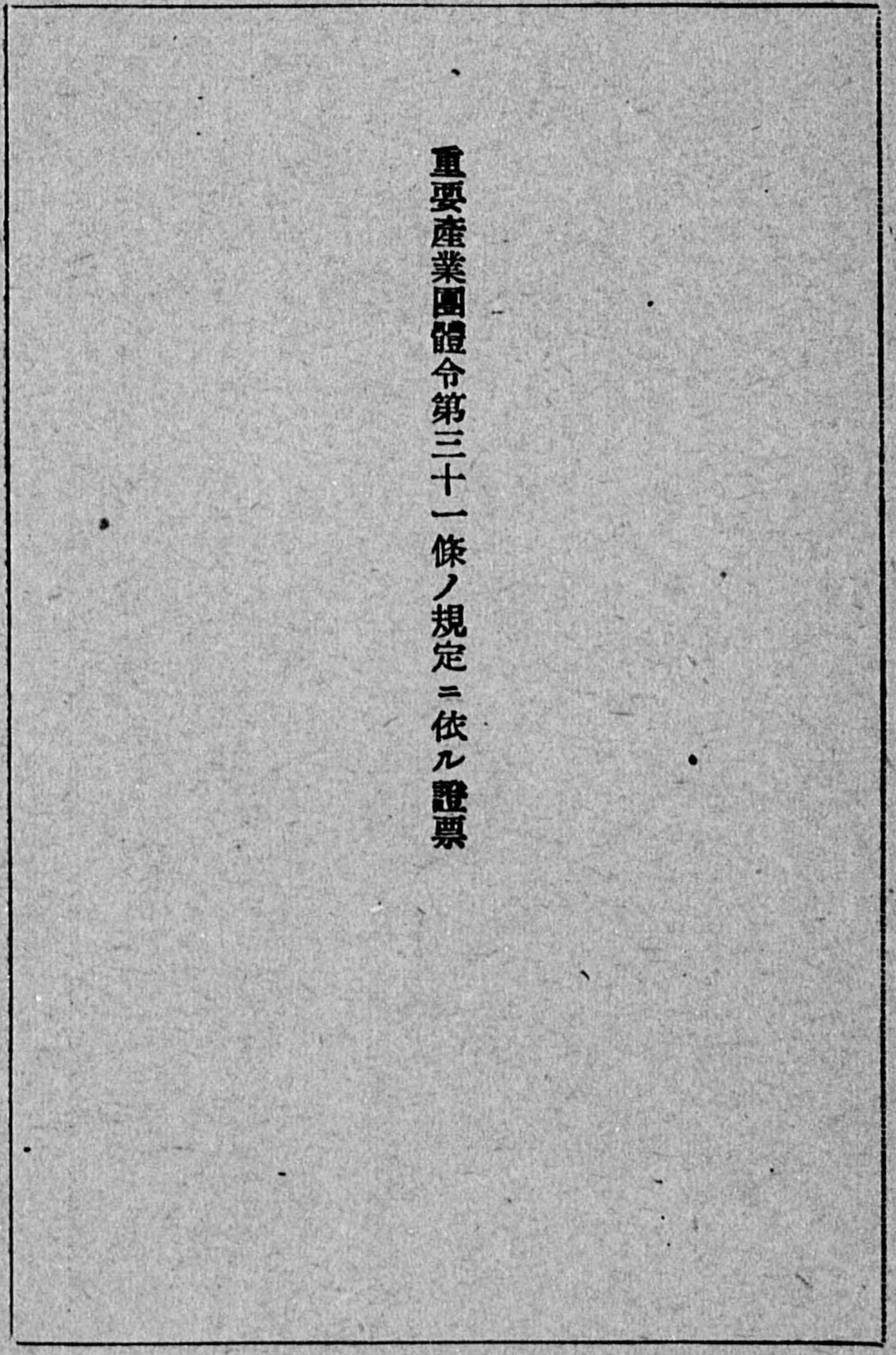


別記

第二號様式(用紙ノ大サハ日本標準規格A6ト  
シ中央點線ノ所ヨリニツ折ト爲ス)  
(表 面)



重要産業團體令第三十一條ノ規定ニ依ル證票





(裏面)

第 號 昭和 年 月 日交付

官 職 氏 名  
當該官廳印

國家總動員法第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

國家總動員法第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

重要産業團體令第三十一條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ統制會又ハ其ノ會員若ハ會員タル團體ヲ組織スル者ヨリ其ノ事業ニ關シ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ事務所、營業所、工場、事業場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類、設備其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

重要産業團體令第五十條 第八條第二項、第十條、第十一條、第十七條乃至第二十六條、第二十八條乃至第三十四條、第三十五條第一項第二項及第三十六條第一項ノ規定ハ統制組合ニ之ヲ準用ス但シ主務大臣又ハ關係各大臣トアルハ第八條第二項、第十條第二項及第卅六條第一項ニ規定スル場合ヲ除クノ外行政官廳トス重要産業團體令施行規則第二十九條 令第二十六條第三項(令第五十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ證票ハ別記第一號様式ニ、令第三十一條第二項(令第五十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ證票ハ別記第二號様式ニ依ル



## 二、國家總動員法拔萃

第十八條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ同種若ハ異種ノ事業主又ハ其ノ團體ニ對シ當該事業ノ統制又ハ統制ノ爲ニスル經營ヲ目的トスル團體又ハ會社ノ設立ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ命令ニ依リ設立セラルル團體ハ法人トス

第一項ノ規定ニ依リ設立ヲ命ゼラレタル者其ノ設立ヲ爲サザルトキハ政府ハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第一項ノ團體成立シタルトキハ政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ當該團體ノ構成員タル資格ヲ有スル者ヲシテ其ノ團體ノ構成員タラシムルコトヲ得

政府ハ第一項ノ團體ニ對シ其ノ構成員(其ノ構成員ノ構成員ヲ含ム以下之ニ同ジ)ノ事

業ニ關スル統制規程ノ設定變更若ハ廢止ニ付認可ヲ受ケシメ統制規程ノ設定若ハ變更ヲ命ジ又ハ其ノ構成員若ハ構成員タル資格ヲ有スル者ニ對シ團體ノ統制規程ニ依ルベキコトヲ命ズルコトヲ得

第一項ノ團體又ハ會社ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

第三十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一、第十一條ノ規定ニ依リ制限若ハ禁止又ハ命令ニ違反シタル者

二、第十六條ノ規定ニ依リ制限若ハ禁止又ハ命令ニ違反シタル者

三、第十六條ノ二ノ規定ニ依リ命令ニ違反シタル者

四、第十六條ノ三ノ規定ニ依リ命令ニ違反シタル者

五、第十七條若ハ第十八條第五項ノ規定ニ違反シ認可ヲ受ケズシテ統制協定若ハ統制



規程ヲ設定、變更若ハ廢止シ又ハ第十七條若ハ第十八條第五項ノ規定ニ依ル命令ニ  
違反シタル者 42

六、第二十三條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ保有ヲ爲サザル者  
七、第二十六條ノ規定ニ違反シ生産修理又ハ設備ヲ爲サザル者

第三十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一、第十八條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ團體又ハ會社ノ設立ヲ爲サザル者

二、第十八條第六項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

三、第三十條ノ規定ニ依ル命令又ハ處分ニ違反シタル者

四、第三十一條ノ規定ニ依ル報告ヲ怠リ又ハ虚偽ノ報告ヲ爲シタル者

第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ六  
月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十五條 公務員又ハ其ノ職ニ在リタル者本法ノ規定ニ依ル職務執行ニ關シ知得シタル  
法人又ハ人ノ業務上ノ秘密ヲ漏泄又ハ竊用シタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ八百圓以

下ノ罰金ニ處ス

第十八條第一項又ハ第三項ノ規定ニ依リ事業ノ統制ヲ目的トシテ設立セラレタル團體又  
ハ會社其ノ他本法ニ依ル命令ニ依リ統制ヲ爲ス法人其ノ他ノ團體ノ役員若ハ使用者又ハ  
其ノ職ニ在リタル者其ノ業務執行ニ關シ知得シタル法人又ハ人ノ業務上ノ秘密ヲ漏泄又  
ハ竊用シタルトキ前項ニ同ジ

第四十六條 第十八項第一項又ハ第三項ノ規定ニ依リ事業ノ統制ヲ目的トシテ設立セラレ  
タル團體又ハ會社其ノ他本法ニ依ル命令ニ依リ統制ヲ爲ス法人其ノ他ノ團體ノ役員又ハ  
使用者其ノ擔當スル統制事務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又之ヲ要求若約束シタルトキハ二年以  
下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲サザルトキハ五年以下ノ懲役  
ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能  
ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

舊第十八條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動  
43



員業務タル同種又ハ異種ノ事業ノ事業主ニ對シ當該事業ノ統制ヲ目的トスル組合ノ設立ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ組合ハ法人トス

第一項ノ規定ニ依リ設立ヲ命ゼラレタル者其ノ設立ヲ爲サザルトキハ政府ハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第一項ノ組合成立シタルトキハ政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ當該組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者ヲシテ其ノ組合ノ組合員タラシムルコトヲ得

政府ハ第一項ノ組合ニ對シ其ノ組合員ノ營業ニ關スル統制規程ノ設程、變更若ハ廢止ニ付認可ヲ受ケシメ、統制規程ノ設程若ハ變更ヲ命ジ又ハ其ノ組合員ニ對シ組合ノ統制規程ニ依ルベキコトヲ命ズルコトヲ得

第一項ノ組合ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

## 附 錄 (二)

### 一、基本國策要綱 (昭和十五年八月二日內閣發表)

世界は今や歴史的一大轉機に際會し數箇の國家群の生成發展を基調とする新なる政治經濟文化の創成を見んとし、皇國亦有史以來の大試鍊に直面す。この秋に當り眞に肇國の大精神に基く皇國の國是を完遂せんとせば右世界史的發展の必然的動向を把握して庶政百船に互り速に根本的刷新を加へ萬難を排して國防國家體統の完成に邁進することを以て刻下喫緊の要務とす、依つて基本國策の大綱を策定すること左の如し。

#### 一、根本方針

皇國ノ國是ハ八紘ヲ一宇トスル肇國ノ大精神ニ基キ世界平和ノ確立ヲ招來スルコトヲ以テ根本トシ先ヅ皇國ヲ核心トシ日滿支ノ強固ナル結合ヲ根幹トスル大東亞ノ新秩序ヲ建



設スルニ在リ之カ爲皇國自ラ速ニ新事態ニ即應スル不拔ノ國家態勢ヲ確立シ國家ノ總力ヲ擧ケテ右圖是ノ具現ニ邁進ス

## 二、國防及外交

内外ノ新情勢ニ鑑ミ國家總力發揮ノ國防國家體制ヲ基底トシ國是遂行ニ遺憾ナキ軍備ヲ充實ス現下ノ外交ハ大東亞ノ新秩序建設ヲ根幹トシ先ツ其ノ重心ヲ支那事變ノ完遂ニ置キ國際的大變局ヲ達觀シ建設的ニシテ且ツ彈力性ニ富ム施策ヲ講シ以テ國運ノ進展ヲ期ス

## 三、國內體統ノ刷新

內政ノ急務ハ國體ノ本義ニ基キ庶政ヲ一新シ國防國家體制ノ基礎ヲ確立スルニ在リ之カ爲左記諸件ノ實現ヲ期ス

- 1 國體ノ本義ニ透徹スル教學ノ刷新ト相俟チ自我功利ノ思想ヲ排シ國家奉仕ヲ第一義トスル國民道德ヲ確立ス
- 2 強力ナル新政治體制ヲ確立シ國政ノ綜合統一ヲ圖ル

イ、官民協力一致各々其ノ職域ニ應シ國家ニ奉仕スルコトヲ基調トスル新國民組織ノ確立

ロ、新政治體制ニ即應シ得ヘキ議會翼贊體制ノ確立

ハ、行政ノ運用ニ根本的刷新ヲ加ヘ其ノ統一ト敏活トヲ目標トスル官界新態勢ノ確立

3 皇國ヲ中心トスル日滿支三國經濟ノ自主的建設ヲ基調トシ國防經濟ノ根基ヲ確立ス

イ、日滿支ヲ一環トシ大東亞ヲ包含スル協同經濟圈ノ確立

ロ、官民協力ニヨリ計畫經濟ノ遂行特ニ主要物資ノ生産、配給、消費ヲ貫ク一元的統制機構ノ整備

ハ、綜合經濟力ノ發展ヲ目標トスル財政計畫並ニ金融統制ノ確立強化

ニ、世界新情勢ニ對應スル貿易政策ノ刷新

ホ、國民生活必需物資特ニ主要食糧ノ自給方策ノ確立

ヘ、重要産業特ニ重化學工業及機械工業ノ劃期的發展

ト、科學ノ劃期的振興並ニ生産ノ合理化



チ、内外ノ新情勢ニ對應スル交通運輸施設ノ整備擴充

リ、綜合國力ノ發展ヲ目標トスル國土開發計畫ノ確立

4 國是遂行ノ原動力タル國民ノ資質、體力ノ向上竝ニ人口増加ニ關スル恒久的の方策特ニ農業及農家ノ安定發展ニ關スル根本方策ヲ樹立ス

5 國策ノ遂行ニ伴フ國民犧牲ノ不均衡ノ是正ヲ斷行シ厚生の諸施策ノ徹底ヲ期スルト共ニ國民生活ヲ刷新シ眞ニ忍苦十年時艱克服ニ適應スル質實剛健ナル國民生活ノ水準ヲ確保ス

## 二、經濟新體制確立要項

### 第一章 基本方針

日滿支を一環とし大東亞を包容して自給自足の共榮圈を確立し、その圈内に於ける資源に基きて國防經濟の自主性を確保し官民協力の下に重要産業の中心として綜合的計畫經濟を遂行し以て時局の緊急に對處し國防國家體制の完成に資し、依つて軍備の充實國民生活の安定、國民經濟の恒久的繁榮を圖らんとす。而して之が爲には(一)企業體制を確立し資本、經營、勞務の有機的一體たる企業をして國家綜合計畫の下に國民經濟の構成部分として企業擔當者の創意と責任とに於て自主的經營に任せしめその最高能率の發揮に依つて生産力を増強せしめ、(二)公益優先、職分奉公の趣旨に従つて國民經濟を指導すると共に經濟團體の編成に依り國民經濟をして有機的一體として國家總力を發揮し、高度國防國家目的を達成せしむるを要す。



本要綱の實施に當りては現下の時局に鑑みその緊急なるものに重點を置き、必要に應じ逐次之を實施するものとし生産力の低下、配給の不圓滑を生ずることなく、民心の不安を來すことなきを期す。尙本體制の整備に即應して關係行政機構及びその事務の再編成を行ふ。

## 第二章 企業體制

企業體制を確立し各個の企業をして國家目的に従ひ其創意と責任とに於て之を經營せしめ生産の確保増強を期す。

- 一、企業は民營を本位とし國營及び國策會社に依る經營は特別の必要ある場合に限る。
- 二、企業はその性質に依り一定の基準に従ひ之が設立等につき必要に應じ制限を加ふ。
- 三、企業はその性質に依り一定の基準に従ひ生産、計畫並に技術的見地より見て之を分離結合せしむることを得。
- 四、中小企業は之を維持育成す但しその維持困難なる場合に於ては自主的に整理統合せ

しめ且その圓滑なる轉移を助成す。

五、企業は國家的生産増強に寄與せしめ又その恒久的發展を遂げしむるため適當なる指導統制を加ふ。

- イ、主要物資の價格を公定するに當りては中庸生産費を基礎とし適正利潤を計上す。
- ロ、國民經濟の秩序保持に障礙ある投機的利潤及び獨占的利潤の發生を防止すると共に適正なる企業利潤を認め特に國家生産の増強に寄與したる者に對してはその利潤の増加を認む。
- ハ、企業利益の分配に當りては適當なる制限を加ふるもその超過部分は公債その他を以て留保し一定條件に従ひ一定期間後に於て處分するの途を拓く。
- ニ、發明發見に依り國家生産の増強に寄與したる者に對しては特別なる報奨の途を講ず。
- ホ、技術は之を公開するの途を拓きその優秀なるものに對しては適當の報奨を與へ以てその進歩を促進す。



へ、企業の設備更新を容易ならしめその他企業の基礎を鞏固ならしむるため償却を強化す。

ト、企業の國家的生産増強に對する寄與に應じ重點的にその擴充發展を助成す。

六、農業水産經營の企業體制に就ては別途之を考慮す。

### 第三章 經濟團體

#### 一、經濟團體組織

イ、重要産業部門に付ては企業及び組合を單位として同一業種に屬する業者又は同一物資に關する業者を網羅する業種別又は物資別經濟團體を組織す。

その基本條件左の如し。

1 經濟團體は云を特殊法人とす。

2 經濟團體は業者の推薦に基き政府の認可する理事者指導の下に之を運營す。

ロ、その他の産業は前項に準じ必要に應じ業種別又は地域別系統團體に組織す。

ハ、外地の企業は外地各地域に於て前各項に準じ夫々經濟團體を組織す但し内地との一元的統制を特に必要とするものに付ては全國的統制に付適當なる措置を講ず。

ニ、經濟團體を組織するに付特に留意すべき事項左の如し。

1 經濟團體の編成に當りては重要なるものより逐次必要の順序に依り之を組織す。

2 軍事上特に必要ある企業に付ては別途これを考慮す。

3 全産業を統轄する最高經濟團體は必要ありと認めたる時に於てこれを設置す。

#### 二、經濟團體の職能

イ、重要産業經濟團體の職能左の如し。

1 政府の協力機關として重要政策の立案に對し政府に協力すると共に實施計畫の立案及びその計畫實行の責に任じ且必要ある場合に於ては政府に意見を具申す。

2 前項の計畫實行に付下部經濟團體及び所屬企業の指導に任ず。

3 必要に應じ生産、配給等經營の實績調査を爲すと共に生産品の品質規格の検査の衝に當り下部經濟團體を監督す。



4 共同計算その他の方法に依り犠牲事業等に對し共助の實を擧げ産業の發展に資す 54

ロ、その他の團體の職能も概ね右に準ず。

三、政府の監督及び大政翼賛會との關係

イ、政府は經濟團體を指導監督す。

經濟團體の整備に伴ひその運営は之を出來得る限り自主的ならしめ指導監督は大綱に止む。

ロ、政府は經濟團體の組成發達を圖るため大政翼賛會と協力す。

四、農林水産業に關する經濟團體組織に付ては別途之を考慮す。

昭和十六年十月五日印刷  
昭和十六年十月八日發行

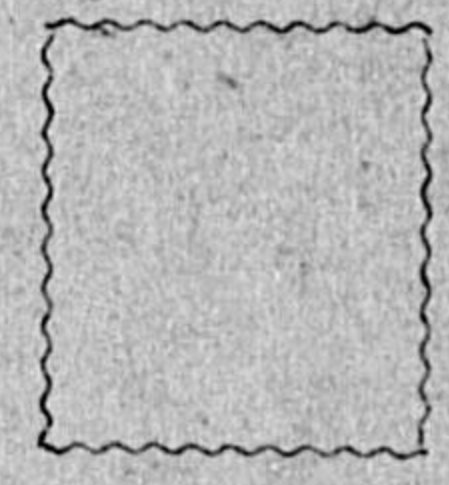
重要産業團體令詳論

● 定價 一圓三十錢

著者 神田 暹すゐ

發行者 高野好生  
東京市神田區小川町二ノ十

印刷者 菅生定祥  
東京市神田區錦町三ノ二



發行所 東京市神田區小川町二ノ十 商工行政社  
會員番號 一一二二〇七

發賣所 東京市神田區小川町二ノ十 高山書院  
電話 神田八一〇番  
振替 東京八三八九三

配給所 東京市神田區淡路町二ノ九 日本出版配給株式會社

協榮印刷所印刷







906  
138



終

